

# 令和5年度 高島なかよし通りの学びのエリア 研究リーフレット

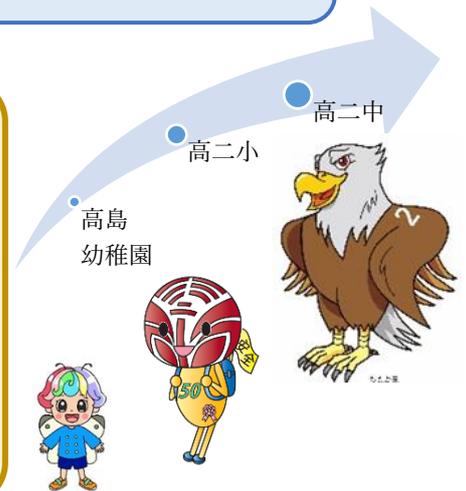
高島第二中学校・高島第二小学校・高島幼稚園

## 研究テーマ

「持続可能な社会の創り手となる子どもの育成」  
～12年間の発達段階に応じた系統的かつ効果的な指導方法の研究～

### 「高島なかよし通り学びのエリア」のめざす子ども像

- 【自立】自ら考え、正しく判断し、責任ある言動ができる子ども
- 【貢献】社会の一員としての自覚をもち、すすんでみんなのために行動できる子ども
- 【共生】自他の生命を尊重し、思いやりをもって人と接する子ども
- 【創造】よりよい生活をめざして、新しい考えを創り出そうとする子ども



## 1 基本方針

- (1) 「学習指導」「生活指導」「特別活動」の3分科会に分かれ、「自立」「貢献」「共生」「創造」を育む12年間を見通した教育活動について研究する。
- (2) 小学校長、中学校長、小中副校長が3つの分科会の顧問となる。
- (3) 各分科会チーフは顧問の所属校の教員から選出する。(副校長が顧問の分科会は中学校から選出する。)
- (4) 既存の校舎長会用の学びのエリアのクラスルームを一般教員も使用できるようにする。小中の管理職とコーディネーターを「教師」とし、その他の教員を「生徒」として登録する。新たに、「学習指導」、「生活指導」、「特別活動」の各分科会用クラスルームをエリア長が開設し、各校で分科会メンバーを「教師」として登録する。

## 2 推進委員会

- ・管理職と幼小中一貫教育コーディネーターで構成する。
- ・管理職の指導のもと、コーディネーターが中心となり、合同研修会を準備する。
- ・毎回の研修会後に推進委員会を開催し、研究の方向性について検討を進める。

### 3 合同研修のまとめ

#### ・第1回 5月10日(水) 高島第二中学校にて

13:30～14:20 授業公開、7年授業にT2として小学校教員が入る

14:25～14:35 帰りの会参観

14:45～15:45 体育館にて協議会



#### 【学習指導分科会】

- ・自ら知りたいと思える、やりたいと思える環境づくり、自ら考える力を育てる、アイデアを引き出す環境づくりが必要である。
- ・学校を出てから約80年間、長期的に自ら学んでいくための学習指導を意識して行っていく。
- ・発達段階に応じたテーマやゴールの設定、発表など自分の考えをもたせる工夫を行っていく。

#### 【生活指導分科会】

- ・外国籍児童・生徒の増加に伴い、学校ルールの伝え方を考えていかなければならない。
- ・埼玉県川口市の取組等を参考とした外国籍家庭(児童・生徒)への行政での対応が必要である。

#### 【特別活動分科会】

- ・日本語が未習得な児童・生徒の諸活動への参加方法を考える必要がある。
- ・少ない時間の中で、児童・生徒にやりたいことを主体的に行わせる工夫をしていきたい。
- ・総合的な学習の時間の確保と各行政調査等の実施時間の捻出が課題である。



#### ・第2回 7月28日(金) 高島第二中学校にて

15:30～16:30 (全体会、分科会、報告会)

#### 【学習指導分科会】

- ・小学校3年生からの4年間と中学校3年間で、調べ学習からそれを体験学習へつなげていく。
- ・調べ方、まとめ方、発表の仕方のプロセスを共有していくことが望ましい。
- ・小学校と中学校の学習計画を一覧表で見やすくし、共有していくことが望ましい。

#### 【生活指導分科会】

- ・ルールメイキングについて  
児童・生徒の安全にも関わることを考えて継続して実施するとともに、児童・生徒の自治の意識の涵養が必須である。
- ・SNSやスマートフォン等の電子機器の使い方について  
保護者への啓発を適切に行い、学校と保護者が強調しつつ、児童・生徒に継続して指導していくことが必要である。

#### 【特別活動分科会】

- ・今年度は、①高二小運動会中学生ボランティア、②高二小学習教室中学生リトルティーチャー、③6年生部活動体験、④高島幼稚園運動会中学生ボランティア、⑤生徒会主導の交流活動、など多岐にわたる活動ができた。
- ・ボランティアを受け入れる側の希望やニーズを踏まえて設定していく必要を感じた。

・第3回 10月25日(水) 高島第二小学校にて

13:30～14:15 授業公開

14:30～15:45 協議会(全体会、分科会、報告)

【学習指導分科会】

- ・どの授業でも、一人で考えたり、友達と意見交流をしたりする場面を取り入れていた。そのことにより、試行錯誤をして自信をもって自分なりの思いを表現する姿が見られた。
- ・今後も、中学校へ向けて動画やクイズ、掲示物等を活用して、学んだり考えたりする過程を楽しむことができるような授業を工夫して行い、自立へとつなげていきたい。



【生活指導分科会】

- ・文字を丁寧に書くように指導したり、教師がたくさん褒めたりするなど、幼稚園、小学校、中学校でそれぞれステップが変わっても、継続して行う必要があることを確認することができた。また、これからどう育てていくか、連携を取ることもできた。
- ・中学校の校則の見直しについても、意見交換を行うことができた。

【特別活動分科会】

- ・どの授業でも、話し合う活動を取り入れていた。外国籍の児童が多く在籍しているが、翻訳を合い、国を超えて思いを伝え合っている様子が見られた。相手の意見を尊重し協働することへとつながっていた。今後も、共生を意識することができるようにしていく。
- ・保幼小中連携の今年度の活動について、成果を伝え合うことができた。各学校園で抱えている課題や特性が違うことを、理解することができた。今後を見据えて、指導をしていきたい。

・第4回 1月12日(金) 高島幼稚園にて

13:00～14:20 保育公開

14:40～15:45 協議会(全体会、分科会、報告)

【学習指導分科会】

- ・子どもにそれぞれの思いがあって、それを大切にしながら指導をしている。
- ・意欲的に遊んでいる子どもたちの姿を見て、遊びこそが学びになると実感した。

【生活指導分科会】

- ・部屋の中の環境が視覚的に分かりやすくなっている。
- ・片付けをすすんで行っている園児の姿に感心した。支度をしている幼児に対して、教師は手伝わず、年少児でも「手伝って」、と子どもから自発的に言うように声を掛けている。

【特別活動分科会】

- ・子どもたちが意欲をもてるような環境である。
- ・自分の思いを自分から伝えることを大切にしていることが、相手に伝える伝え方を学んでいると思う。
- ・それぞれの子どもに合わせて、子どもがやりきったと思えるように支援をしている。年少児から積み上げて、年長児のできる姿をそのまま小学校以降の学びに生かしていきたい。



## 4 幼小中の交流活動及び合同行事



幼小交流活動 毎月1回



幼小交流活動 毎月1回



高二小運動会 中学生ボランティア



小中合同引き渡し訓練



高二小にて 中学生リトルティーチャー



6年生の高二中部活動体験



高二小寺子屋花火大会 高島幼 PTA 花火



高二小寺子屋花火大会 高二中吹奏楽部



高島幼稚園・高二小 高二中生の職場体験



高島幼稚園運動会 高二中生ボランティア



小中合同あいさつ運動



幼小中合計 62,640 円集まりました

幼小中合同ユニセフ募金活動

## 5 今年度の成果と次年度への課題

高島なかよし通り学びのエリアでは、今年度の研究を通して、幼小中の全教職員が 12 年間を見据えて大切にすることについて以下のとおり共通理解を図った。

### 【教職員の関わり 3つの視点】

- 成長を促す意図的な関わり
- 個に応じ、寄り添った関わり
- チームで共通理解を図った関わり

### 【環境づくり 3つの視点】

- 学びたくなる環境づくり
- 学びの意欲を継続する環境づくり
- 安心して学べる環境づくり

共通理解を図ったこれらの視点を来年度の教育活動で意識し実践していくことが課題となる。